

- 1 主題名 正直な心で 1－(4) 正直
- 2 資料名 才田のわんかしきつね (ふるさとがはぐくむ どうとくいしかわ 小学校低学年)
- 3 ねらい うそをついたりごまかしたりしないで、正直に明るい気持ちで生活しようとする心情を育てる。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

低学年の内容項目1－(4)は「うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する」であり、正直に明るい心で生活する児童を育てようとするものである。

児童が積極的で健康的な自己像を描くには、自己の過ちを認め、改めていく素直さや誠実さをもち、明るく楽しい生活を心がけようとする姿勢をもつことが大切である。過ちや失敗を起こした時のうそやごまかしは、その場しのぎで結局解決には至らず、他者の信用を失い、自分自身にも後悔や自責の念が生じる。それを乗り越えるのが正直な心であり、心の明るさである。そのような誠実な生き方を大切にしようとする心を育てる必要がある。

低学年の段階では、特に叱られたり笑われたりすることから逃れるために、うそやごまかしをしてしまうことが少なくない。いけないことをしてしまったときには素直に非を認め、あやまることができるとともに、正直で素直に伸び伸びと生活できる態度を養うことが求められる。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、男女ともに自分の考えや思ったことを発表することに抵抗を示す傾向がある。授業では、男子の数名は、思ったことをすぐに口に出して深く考えない発言になりがちである。女子は、声が小さく自信無げであり、思いを話すことより書くことの方が得意である。

学校生活では、宿題をしなかった時や、学習用具を忘れた時など、「宿題をしたけど家に置いてきてしまった。」「お腹が痛くなってできなかった。」とか、「お母さんがいなかったから用意できなかった。」などと、自己保身のために、その場しのぎの言い訳をすることがある。嘘やごまかしをすると、いやな気持ちで生活しなければならないことに気付かせるとともに、自分のしたことを正直に話すこと、悪いときは心から謝ることで気持ちよく生活ができることに気付き、実践できるようにしたい。

1学期の道徳の学習「おれたミラー」では、「失敗した時、正直に謝ることが大切である。それには、勇気が必要であるが、謝ったあとは、気持ちがすっきりする。」ということを学習した。授業では、「ぼくたちは悪いことをした。だから、謝らなきゃいけないよ。」と言ったしゅうじ君に対して「えらいね。」「勇気があるね。」という感想が多くあった。しかし、学校生活においては、まだまだ、その場しのぎの嘘を言うてしまうことがあり、継続して指導が必要である。

(3) 資料について

本資料は、金沢市に伝わる民話である。おばあさんが法事に使うお椀がなくて困っていると、村の神社に住むきつねが貸してくれた。あばあさんは、たいへん喜んでお椀を丁寧に洗って返した。このうわさが村に広まり、村の人が、きつねからお椀を借りるようになった。あるとき、隣のおじいさんがお椀を借りたが、その中の一つにひびが入ってしまった。おじいさんは、正直に言おうか、だまって返そうか迷ったが、そのまま返してしまった。その後、きつねは、お椀を貸してくれなくなった。嘘やごまかしは、自分を嫌な気持ちにさせるだけでなく、自分と相手の関係も悪くしてしまう。本資料を通して、嘘やごまかしの問題性、明朗・誠実な行動の意味を考えさせることができる。

5 指導にあたって

気付く段階では、嘘をついたり、ごまかしたりした経験について発表し合い、嘘やごまかしをしたくなるのはどんな時かを自分の経験から想起させて資料へとつなげるようにする。

深める段階では、嘘やごまかしは、自分の気持ちを暗くするだけでなく、相手との関係を悪くすることに気付かせるために、「おばあさんときつね」「おじいさんときつね」の関係を対比させながら考えさせる。葛藤で揺れ動くおじいさんの心について、正直に話す立場とだまって返す立場で、ペープサートを使い役割演技を通して考えさせたい。また「ごまかしてお椀を返された時」や「おじいさんが正直に話した時」のきつねの思いや行動を分類して考えさせることで、お互いに気持ちよく生活できるのはどちらかに気付き、正直に生活しようとする気持ちを育みたい。

見つめる段階では、「正直に話をすることができたことはありますか。」と問い、これまでの自分を振り返り、今後の生活へつなげるようにしたい。

あたためる段階では、ゲストティーチャーの説話により、「迷ったけれど、正直に話して良かったと思った体験談」を聞き、実践意欲を高めるようにしたい。

【研究とのかかわり】

・「価値について考えるための深めの発問」について

資料での話し合いをいかしながら、中心発問では、「お椀をかしてもらえなくなって、おじいさんはどんなことを考えたでしょう。」と問いかけ、正直にできなかったことの後悔の気持ちを想像するとともに、正直にすることの大切さについて考えさせたい。そして、深めの発問として「正直にすると、どんないいことがあるのでしょうか。」で、正直さや誠実さが人間関係にもよい影響を及ぼすことに気付かせ、道徳的価値の理解を図りたい。

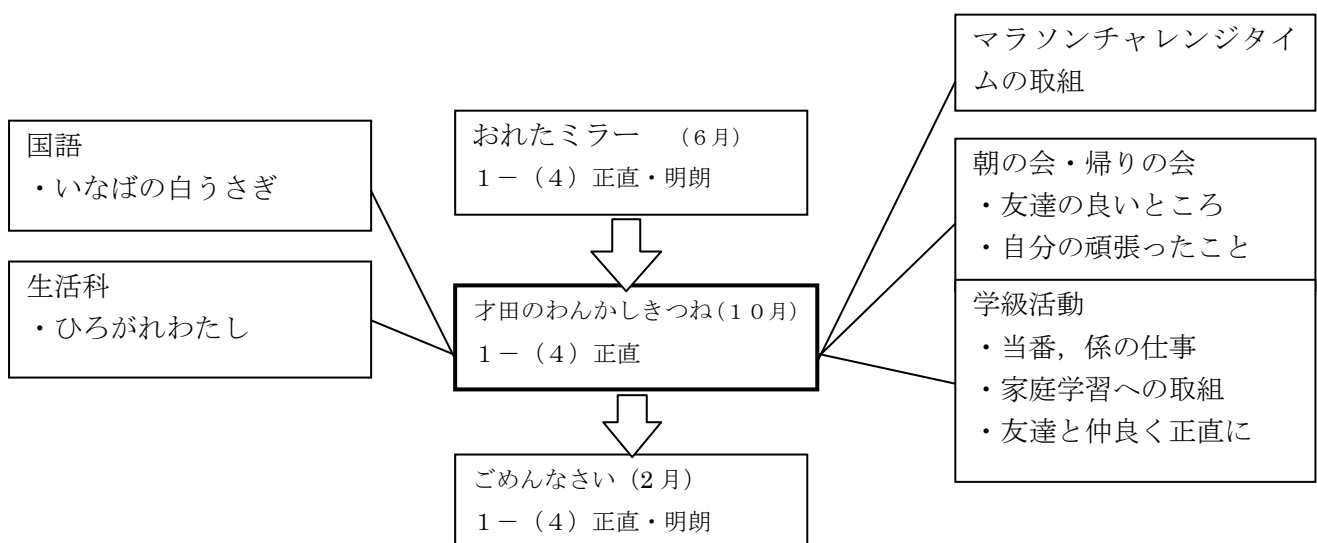
・「児童同士の対話の充実」について

本時は、授業の深める段階前半において、ペアで話し合う活動を取り入れる。その活動を通して「おじいさんの心の中の葛藤」に共感させたい。

・「補充・深化・統合」について

本時は、「自分の失敗や謝りを認めるのには、勇気が必要であるが、正直に行動することで、自分の気持ちもすっきりできる。」という1学期の学習を踏まえ、正直に生活することの良さを更に学ぶための「深化」の時間として位置付ける。

6 他の教育活動と本時の位置付け



7 資料分析

場面	登場人物の心の動き	◎中心発問 ○基本発問	○深めの発問
<p>○話がはじまるところ</p> <p>○おばあさんの家で法事をするこゝになり、きつねがお椀を持ってきてくれたところ</p> <p>○無事に法事が終わり、きつねのうわさが村中に広まったところ</p> <p>○おじいさんが、ひびのはいったお椀をだまて返してしまつたところ</p> <p>○きつねがお椀を貸してくれなくなつたところ</p>	<p>・ごちそうを出すお椀がないよ。困つたな。</p> <p>・ああ、おどろいた。</p> <p>・これで法事ができる。</p> <p>・ありがたい。</p> <p>・うれしいな。</p> <p>・これで安心だ。</p> <p>・いつでも貸してもらえろ。よかつたな。</p> <p>・ありがたいな。</p> <p>・どうしたらいいかな。こまつたな。</p> <p>・おこられるかな。</p> <p>・こわいな。</p> <p>・1つくらい、だまていれればわからないかな。</p> <p>・このまま返そう。</p> <p>・正直に謝ろうかな。</p> <p>・きつねをおこらせてしまつた。</p> <p>・謝ればよかつたな。</p> <p>・正直に言えば良かつた。</p> <p>・村の人に悪いことをしてしまつた。</p> <p>・今からでも謝ろう。</p> <p>・正直に言ってくればよかつたのに。</p> <p>・せつかく貸してあげたのに、ごまかすなんてひどいな。</p> <p>・もう、貸さないぞ。</p>	<p>困つた・心配</p> <p>↓</p> <p>おどろき 喜び・安心</p> <p>↓</p> <p>喜び・安心 感謝 うれしいな ありがたいな</p> <p>↓</p> <p>困つた どうしよう 迷い・葛藤</p> <p>↓</p> <p>後悔</p> <p>○うそをついたり、ごまかしたりしそゝになるのはどんなときですか。</p> <p>○ひびが入つたお椀を見て、おじいさんは、どんなことを考えたでしょう。</p> <p>◎お椀を貸してもらえなくなつて、おじいさんは、どんなことを考えたでしょう。</p>	<p>○正直にすると、どんないいことがあるのでしょうか。</p>

8 本時の学習活動

(1) 準備 お椀, 挿絵, ワークシート, ペープサート

(2) 展開

過程	学習活動	<教師の働きかけ> ・予想される児童の考え ≪中心発問≫での反応の類型化▽□◇	◎評価 ・指導上の留意点
気 付 く 5 分	1 うそをついたり,ごまかしたりした経験を想起する。	<うそをついたり,ごまかしたりしようになるのはどんなときですか。> ・忘れ物や宿題を忘れたとき。 ・だまっていれば分からないと思うとき。 ・おこられそうだなと思ったとき。	・うそやごまかしをしたくなるのはどんな時かを経験から想起させて資料へつなげる。
深 め る 30 分	2 資料「才田のわんかきつね」を読み,話し合う。 対話	<ひびが入ったお椀を見ながら,おじいさんは,どんなことを考えたでしょう。> ・どうしたらいいかな。こまったな。 ・おこられるかな。こわいな。 ・1つくらい,だまっていればわからないかな。 ・せっかくなされてくれたんだから,あやまろう。 ・やっぱり正直にいったほうがいいな。 ≪お椀を貸してもらえなくなって,おじいさんは,どんなことを考えたでしょう。≫ 対話 対話 △きつねは,おこってしまったのかな。 □せっかくなされてくれたのに,悪いことをした。 □やっぱり正直に言って謝ればよかったな。 ◇きつねにも村の人にも悪いことをした。 <きつねは,どう思ったでしょう。> ・正直に言ってくれればよかったのに。 ・せっかくな貸してあげたのに,ごまかすなんてひどいな。もう,貸さないぞ。 ・正直に話してくれたからゆるしてあげよう。 ・ひびが入ったのは仕方がない。 <正直にすると,どんないいことがあるでしょうか。> ・うそをつかなくてもいい。 ・びくびくしなくていい。 ・相手に信用される。 ・自分の気持ちが明るくすっきりする。 ・また仲良くなれる。	・お椀が借りられて村の人が喜んでいられることをおさえておく。 ・ペープサートを使い,ペアで正直に謝るおじいさんと,嘘をつくおじいさんになり役割演技をして,二つの立場の気持ちを実感させる。 ・教師と役割演技をする。 ・嘘をついたおじいさんの後悔の気持ちを想像させる。 ・ワークシートに書き発表する。 ・「嘘をつかれたきつねの気持ち」「きつねは,なぜおこったのか」等についておさえる。 ・嘘をつかれた時,正直に言われた時のきつねの思いや行動を想像させ,分類して板書する。 ・正直に言われた時の相手はどう思うか問う。 ・「なぜびくびくしなくてよいのか」「なぜすっきりするのか」などをおさえる。 ◎うそをついたりごまかしたりしないで正直にすると,心がすっきりして,相手も気持ちがすっきりすることに気づいている。(発言・道徳ノート)
3	正直について考える。	<正直にすると,どんないいことがあるでしょうか。> ・うそをつかなくてもいい。 ・びくびくしなくていい。 ・相手に信用される。 ・自分の気持ちが明るくすっきりする。 ・また仲良くなれる。	◎うそをついたりごまかしたりしないで正直にすると,心がすっきりして,相手も気持ちがすっきりすることに気づいている。(発言・道徳ノート)